

## 平成29年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額 (円)	交付額 (円)	推薦 順位	平均 審査点	コメント
1	特定非営利活動法人吹田こども・夢・未来協会	自然探検隊	子どもたちが自然の美しさや厳しさを感じるとともに、仲間と協力しながら自ら行動できる力、生きる力を身につけていけるよう、自然に親しみ興味を感じるプログラムを企画しています。また、異年齢で助け合いながら挑戦するなかで、思いやりの心やリーダーシップ、頑張る力を養うとともに、環境学習を通じて里山保全などへの興味づけを行い、自然との共生の大切さを学び成長できる場を提供しています。	自立支援	176,000	176,000	2	23.25	子ども達が自然とのふれ合いの中で人と自然との共生を学び、成長する機会を設ける非常に意義のある活動だと思えます。また、中学生、高校生になった子ども達が関わる事で、一層活動の広がりを感ずます。今後は高校生がリーダーとして大きく成長される事を期待したいと思います。これからも、貴団体が子ども達の成長を見守る活動を続けていかれることを祈念いたします。
2	SA国際ふれあいの会	「小学生と外国人との国際交流授業」	・吹田市内の小学校での「小学生と外国人との国際交流授業」の企画・実施。 ・外国人は中東・アフリカ・東アジアなどの欧米圏外とする。 ・国際交流授業内容は①先に国際交流授業の意義を説明。 ②外国人によるお国の習慣・文化などについて日本語で紹介する。③児童からは日本の伝統遊びの紹介や合唱や音楽演奏などを演じてもらう。④相互理解を深めるため給食を一緒に食べる。その時はフリータイムとし、お互いが質問しあったりふれあいをして一層の交流効果を高める。	自立支援	110,000	44,000	14	19.00	世界の国や民族の正しい姿や文化の多様性などを理解することを目的に、吹田市の子どもと留学生などとの交流を進めようとする事業に心から敬意を表します。今年度は10小学校で実施されようとしていますが、拡大を図る前に、「吹田市の子どもたちにとってどのようなプログラムや進め方が望ましいか」を精査し、「SA国際ふれあいの会」としての国際交流の方法を確立することが望まれます。このような考えのもと、今年度は昨年度実績の4小学校の実施にかかる経費を補助対象とするのが適当と考えます。みなさまの今後の活動を期待いたします。
3	特定非営利活動法人吹田市民NPO	人とひとが集い合う「輪と和のカフェ」	毎週日曜日(平日は夜間も含めて3日程度)を中心に子ども達から高齢者まであらゆる年代層の人達が自由気儘に集い、200坪の庭と150坪の家を最大限活かした、それぞれにのんびり過ごせる場として提供。そこでは地域の有識者やボランティアがコーディネーターする交流の場面を演出し、学習の機会等を提供し、いつでも気軽に利用する輪と和のカフェを目標とする。	自立支援	250,000	250,000	9	20.83	安定的に利用できる施設を拠点とした多世代交流として評価できます。柿の木坂の家や地域のコーディネーターなど恵まれた条件を最大限に生かし、今年度はより一層の事業の強化発展を期待しています。今年度は2回目の申請ですが、強化・発展ありと判断させていただきました。なお、「輪と和」の広がりや情報公開を進める観点からHPの開設等の取り組みも望まれます。
4	「人の輪と心を育む」ひまわり教室	聴覚障がい児の保護者及び聴覚障がい児者支援事業	ひまわり教室では聴覚障がい児(乳幼児から)の保護者や聴覚障がい当事者が集まり学び合う場を企画しています。縦横の交流は将来の見通しにつながり、障がいの認識や人との関わり方やコミュニケーションについて学ぶ機会になっています。また、音声と手話での絵本の読み聞かせは聞こえる人と聞こえない人が自然につながる楽しい場です。聴覚障がいについての悩みをいつでも相談できる場所困ったときの駆け込み寺です。聴覚障がい理解啓発の出前授業も行います。	自立支援	160,000	160,000	1	24.13	聴覚障がい児の保護者が自信を持って子育てができるようにと親同士の横のつながりを支援し、聴覚障がい児とその先輩たちとのつながりを作り、子ども達には障がいをもっていても大丈夫、聴こえなくても大丈夫という気持ちを持って社会で力を発揮できるようにコミュニケーション能力を高めるための手話学習への取組に対し高く評価します。参加者も増加傾向にあるとのことで、聴覚障がい児者及び保護者などの困った時の駆け込み寺の機能も浸透しつつあるのではないかと思います。手話の大切さや楽しさを広げ、ノーマライゼーションの社会づくりに貢献していただきたいと思います。今年度は3回目の申請ですが、強化・発展ありと判断させていただきました。
5	吹田市聴言障害者協会	手話等交流カフェ	手話交流カフェを月1~2回開催し、手話でおしゃべりしたり、情報を共有したりします。数回、外部からゲストを招いて交流企画をします。情報コミュニケーションを保障し、聞こえない人の問題を理解していく事業で、ひとりぼっちの耳の聞こえない人をなくしていきます。そして生活の問題や悩みなどを解決していくきっかけになればと思います。	自立支援	50,000	50,000	4	22.00	聴覚障がい者の孤立化を防ぎ、情報共有化の手段としての「手話交流カフェ」は意義のある取組と思われれます。今年度は「手話入門講座」を開催し交流のきっかけづくりをされるとのことで、今後この取組の広がりに期待します。今年度は2回目の申請ですが、強化・発展ありと判断させていただきました。
6	NPO法人ワーキング・ママ	土日祝における低学年向け学童保育事業	土日祝でも勤務する必要のある保護者のために、保育士や教員免許を保持していないが、研修を受けた同じ地域に住まう子育て経験のある主婦やシルバー世代が有償ボランティアとして、児童の預かり対応を行うことで、地域全体で子育て世帯を支える仕組み作り。	自立支援	500,000	85,150	12	20.25	子育て世帯が抱える「小1の壁」に着目し、利用しやすい価格設定や主婦・シルバー世代の協力を得た土日祝の支援システムづくりは示唆に富む取り組みです。しかしながら、本申請事業の本格的な開始には、鍵となるスタッフにかかる体制整備に時間を要するとの印象を受けました。自治体に加え、子育て支援を担う他団体との協働と差別化によって応用可能なモデル化を期待しています。なお、人件費、旅費に係る経費は参加費で賄うものとし、その他の経費について補助対象とすることが適当と考えます。

## 平成29年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額 (円)	交付額 (円)	推薦 順位	平均 審査点	コメント
7	特定非営利活動法人すいた体験活動クラブ	児童たちが校庭の一角で「二毛作」と「地産地消」を実体験する学習支援事業	都市化がすすむ吹田市内10校の小学校で、5年生児童910人が、校庭でミニ田んぼをつくり、一年を通して稲作とタマネギの栽培の農作業に取り組み、授業で学ぶ「二毛作」と「地産地消」を実体験する。また、田んぼに集まる虫や鳥などの野生の生きものの観察を行ない、学びが広がる体験活動を支援する事業です。	自立支援	500,000	200,000	10	20.63	吹田も田んぼが少なくなってきたり、校庭でのミニ田んぼづくりは、水の管理、田植え、稲刈り、脱穀、精米そして試食と、児童が農業体験を通じて情操を育む活動として高く評価しています。「二毛作」、「地産地消」と、集まる虫や鳥など野生の生きものとのふれあいも体験できる有意義な取り組みをされています。子どもたちが協調してものを作り、自然に触れ合うことで、感性を育み逞しく育ってくれることを願っています。なお、新規事業としての申請でしたが、事業内容から従来の継続事業と判断させていただきました。
8	わたしにできることプロジェクト	語り合おう介護の魅力～あなたの笑顔に癒される～	介護・福祉に関する発表会を行っています。運営するのは、吹田市内で働く普通の介護職員です。日々の楽しかった・嬉しかったことや悲しかったこと等、そばで共に生きて、感じたことを職員や家族の言葉でお話し、施設での暮らし・そこの日常などを感じて頂きたいです。ただの発表会だと退屈ですし、幅広い年齢の方に興味を持っていただきたいと思い、楽しいイベントや出し物を行う予定です。	自立支援	75,831	65,505	13	19.50	介護・福祉に関する発表会という、社会問題を身近に感じさせる興味深いイベントで、より広く介護の実態や施設での生活を分かりやすく広めるという活動は高齢者やその家族には共感性があるといえます。しかし、今後安定して団体・イベントを継続していくためには、会員募集や広報、参加費の有無について検討していく必要があるのではないかと感じました。今後の活動展開に期待します。なお、今回の申請は継続事業と判断させていただきました。
9	吹田のバリアフリー・交通アクセスをめざす会	吹田のバリアフリー・交通アクセスをめざす会	駅や施設のバリアフリー調査、シンポジウム等とおして高齢者から子ども、障がいの有無にかかわらず誰もが安心、安全に暮らせるまちづくりを市民と考えていく	自立支援	25,514	25,514	7	21.63	公共施設のバリアフリー度を調べ、障がいの有無にかかわらず、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりを推進する地道な活動に対し敬意を表します。益々のご活躍を期待しています。
10	特定非営利活動法人すいた市民環境会議	大木調査PartⅢ	幹回り200cm以上の樹木を吹田の大木として会員以外の市民の人たちにも呼び掛けて調査します。どこに、どのような樹種が大木としてあるのか、何本あるのか無くなった大木は何か、理由も含め調査し、報告書として掲示します。3回目の調査は2000本近くの樹木を調査することになるため、調査のみでほぼ1年間かかり、報告書にするのは2018年度になります。	自立支援	283,000	283,000	6	21.75	100年後、1000年後に大木を残すべく、過去2回の調査につづいて、第3回目の大木調査を進めておられることに敬意を表します。その熱意と緻密な計画、市民を巻き込んだ進め方などを高く評価し、申請額どおりの補助金が相当と考えます。この活動の意義が市民に理解できる内容となるよう、会員のみならずとにも多くの市民の参加のもとに調査が進められることを期待いたします。
11	特定非営利活動法人吹田市音楽療法推進会おんがく・さ〜くる・コスモス	Music Pal ～みんなのクリスマスコンサート～	Music Palとは音楽で仲良く。年齢、性別、障がいの有無に関わらず、誰でも気軽に楽しめる参加型コンサートです。ジッとしていられなくても大丈夫。車椅子の参加もサポートします。地域の元気な子どもたちもパパ、ママもじーじ、ばーばもみんな一緒に音楽を楽しみましょう。	自立支援	420,000	264,745	3	22.75	音楽を通して様々な活動やイベントを開催し、毎年実績を上げていることに対し高く評価します。ただ一昨年、昨年も対象者は違いますが類似の事業を実施されており、継続事業と判断させていただきました。今後も音楽を通じて誰でも参加できる取り組みをされていくことを希望します。
12	五月が丘北むつみ自治会	庭先カフェ(ガーデンカフェ)	自治会内公園で月1回のオープンカフェを開催。班長と役員で毎月お世話役を交代し、民生委員・福祉委員の協力も得て、特に高齢者の方に丁寧なお声がけをする。開催日はその月の担当者が都合の良い日にし、掲示板・回覧板で開催日は早めに広報し、当日は広報車をだして知らせる。また雨天の時は、テントか近くのカフェ下をお借し、暑い時は夕涼みのビアガーデンや、冬場は、独居の方がお家を提供下さる案もでている。	自立支援	123,000	0	15	18.38	身近な地域コミュニティとしての自治会の存在をアピールできる、非常に効果のある事業だと感じます。一緒にお茶を飲むなどを通じて、高齢者や一人住まいの方々へ声掛けすることは、防災減災、防犯などの観点からも好ましいことです。しかし、市内のいくつかの単位自治会に既に実施されている事業でもあり、先駆性は感じられません。既存の事業については、資金面においても、各自治会でも工夫されているもので、今回の補助金の対象としては残念ながら難しいと考えます。事業の目的や趣旨は非常に意義深いものであり、今後の貴自治会の発展と活性化に期待いたします。
13	特定非営利活動法人すいた環境学習協会	市内公園の樹木調査と名札かけ事業	・市内公園を定期的に調査し主な樹木に名前と分類が解る名札をかける。 ・名札は十分な耐久性を持った手作り品と恒久的な市販品を採用する。 ・名札は常に美しさを維持するために点検・補修を行う。 ・公園別の案内リーフレットを使い市民参加の公園案内(樹木観察会)を定期的に行う。 ・樹木観察会は「花とみどりの情報センター」との共催で行う。	自立支援	256,000	240,000	8	20.86	市内公園の樹木に名前と分類が分かるよう名札をかける作業は地味ですが市民には好評であり、市民の教養文化にも貢献していると思われます。なお、今回の申請について継続事業と判断させていただきました。

## 平成29年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額 (円)	交付額 (円)	推薦 順位	平均 審査点	コメント
14	ママGOGO	「マチへ出よう！ママGO！GO！プロジェクト」	子どもを想えばこそママファーストで、“あったらいいな”の場づくりを推進している団体です。社会から孤立しやすい乳幼児を子育て中のママたちが、マチの地域情報(病院、幼稚園、習いごとetc)を持ちよる講座制の場を新設。情報を収集し、ゆるやかな繋がりのキッカケを創造するとともに、他事業(公的施設の保育つき主催講座サポート事業や、転勤族ママサポート事業)にも活かすことで、ママが心身ともに健やかに子育てできるよう当事者目線で支えあいます。	自立支援	200,000	183,704	5	21.88	当事者同士が子育ての情報を持ち寄り、集まることで緩やかな繋がりを作る意義は感じました。事業の社会的ニーズには共感いたします。団体の活動も5年目を迎え、事業参加者からボランティアを申し出る方もあるとのことでしたが、今後は支えられる立場から支える立場に移行する方を上手に巻き込み、会の運営に活かされることを期待いたします。なお、既存の事業を兼ねることで需用費部分については他事業と混在しているものと考えます。
15	千里丘なかよしクラブマヌカ	プレイセラピー事業	発達の気になる子どもや友達のできにくい小学生のための心理士によるプレイセラピー教室。レゴブロックやジグソー、ぬり絵、ゲーム等のコラボプレイでコミュニケーション能力をつけて人とうまくやっていくスキルを育みます。単なる遊びクラブではなく、3人に1人の援助者がつくふれ合いの仲間づくりで社会性が向上します。	スタート支援	100,000	100,000	10	20.63	発達障害などでコミュニケーションが苦手な子どもたちを対象に、レゴという世界に普及した遊具などを用い、遊びを通じた協同作業などによって協調性や社会性を獲得させようとする「プレイセラピー事業」を始めようとしていることに心から敬意を表します。事業が軌道に乗り、セラピーの新しい手法として確立され、多くの悩みを抱える家族や学校、支援施設などに普及することを期待いたします。